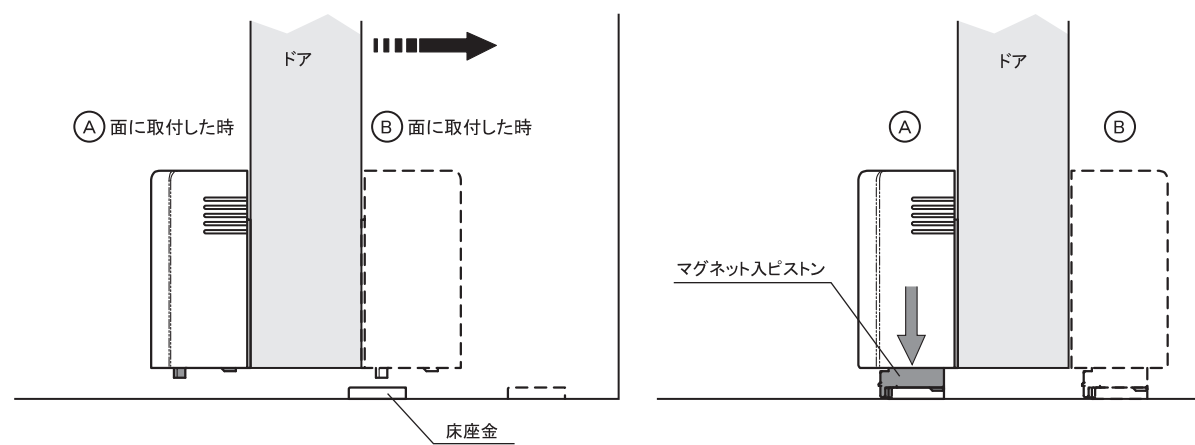


○ 取扱い方法

ロックカバーの作動は手でお願いします。

通常の開け閉めについて

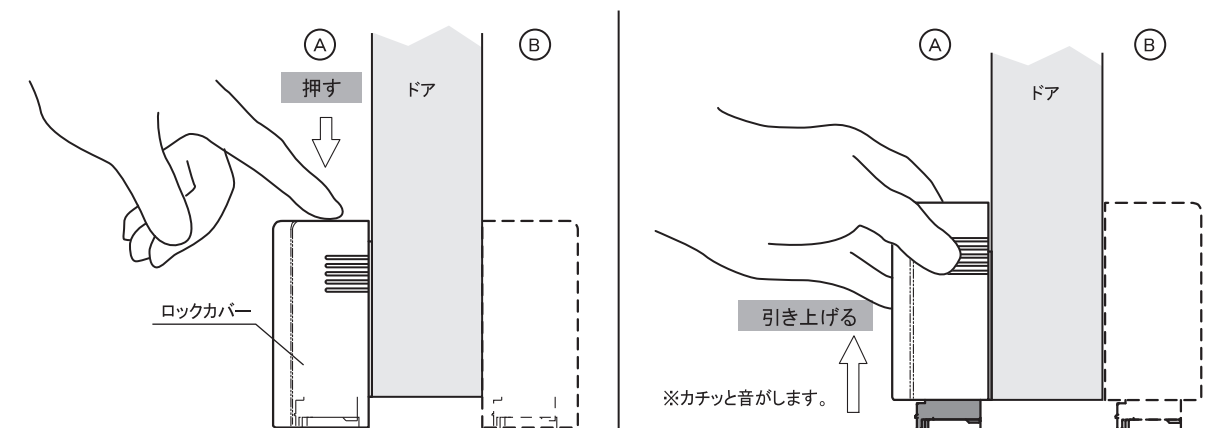
ドアが床の座金に近づくと本体内のマグネット入ピストンが下がリドアをキャッチします。



※ ドアを開くスピードが速かったり、強すぎるとはね返ったり、通り過ぎてキャッチエラーが発生する事があります。

開けたドアをロックしたい時

ドアをキャッチしている状態で本体のロックカバーを下げてください。



☆ ロック状態

☆ ロック解除状態

【注意】 ロックカバーが破損する恐れがありますのでご注意下さい。

- ロック状態のままドアを押したり引いたりしないで下さい。
- ロックカバーを下げたままドアを開閉しないで下さい。
- 床側の座金もマグネットの為、落とした金属片等が吸い付く事が想定されます。怪我の原因にもなりますので、必ず取り除いて下さい。

○ 製品に関するお問い合わせ



川喜金物株式会社

〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目9番28号

TEL 06-6538-3801(代表)

FAX 06-6538-3806

HP <http://www.kawaki-sowa.co.jp/>

ドアキャッチャー MDC-W型 施工説明書/取扱い説明書

- この説明書には施工上で重要な項目が記載されております。施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工して下さい。
- 最終ページは取扱い説明書になっておりますので、必ず施主様へお渡し下さい。



警告

取付及びに取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う可能性があります。

- 下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないで下さい。
本製品は強力なマグネットを使用している為、各医用電子機器に誤作動を招く恐れがあります。

[1]ペースメーカー等の体内埋込み型機器 [2]人工心肺等の生命維持用機器 [3]装着型の心電計等



注意

取付及びに取扱いを誤った場合、中程度の損害や軽傷を負う危険性、または物的損害が発生する可能性があります。

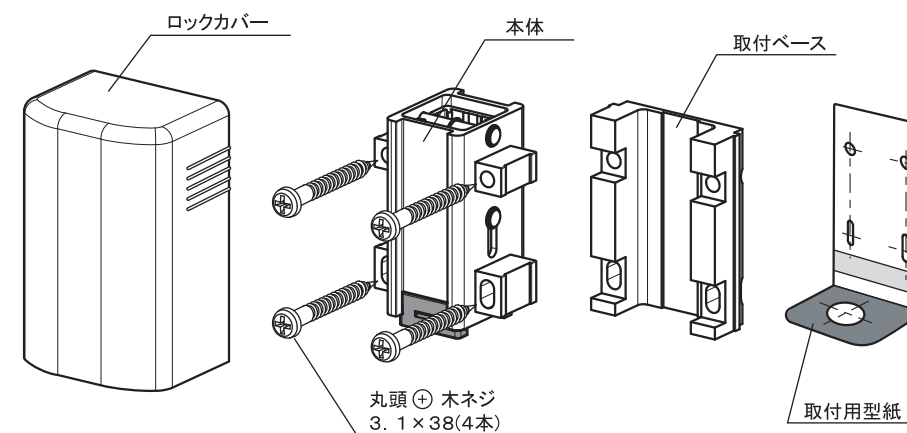
- 本体ロックカバーが下りたままになっている時は必ずカチッと音がする所まで手で引き上げておいて下さい。
- ドアを開放しておく時は、必ずロックカバーを下げてロックして下さい。ドアが強風で強く閉まり思わぬ怪我をする恐れがあります。
- 床側の座金もマグネットの為、落とした金属片等が吸い付く事が想定されます。怪我の原因にもなりますので、必ず取り除いて下さい。

○ 施工上・取扱い上のお願

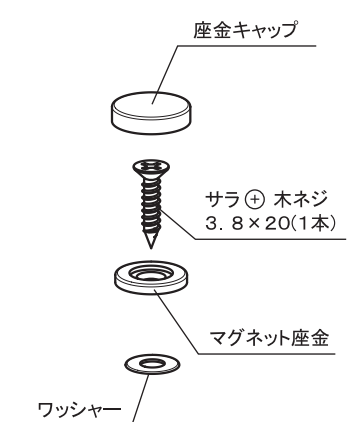
- 本製品は木質ドア専用です。マグネット式の為、スチール製のドアには使用出来ません。
- 本製品は木質床材専用です。じゅうたん・クッションフロア等の軟質床材へは取付出来ません。
- 本製品の取付はドアの建てつけ調整を行った後をお願いします。
- ドアの吊り元寄りに取付られると過重により破損の恐れがあります。
- ドアと床の隙間が5~12mmとなるように、ドアの高さを調整して下さい。ドアと床の隙間を12mm以上になるとストッパーが作動せず、ドアが壁などに衝突する恐れがあります。
- 床暖房システムを使用している部分では使用しないで下さい。※取付ける前に必ず確認して下さい。
- 本製品の取付には必ず下穴を開け、ネジ締付け時には手動ドライバーもしくはクラッチ付のドライバーを使用して下さい。締付けトルクが強過ぎると、ネジの空回り・ネジ頭部の破損・潰れの原因となります。
- ロックが掛かった状態でドア本体にもたれ掛かったり、引っ張ったりしないで下さい。ストッパーが破損する恐れがあります。
- 磁気商品(携帯電話・カード・時計・精密機器)を本体に近づけないで下さい。使用出来なくなる恐れがあります。
- 床側の座金もマグネットの為、落とした金属片等が吸い付く事が想定されます。怪我の原因にもなりますので、必ず取り除いて下さい。
- 掃除の際に強力な洗剤等は使用しないで下さい。変形・色あせの原因になります。
- 本体にお湯をこぼしたり、暖房機器による熱風等を与えたりしないで下さい。

○ 部材構成

扉側取付部品

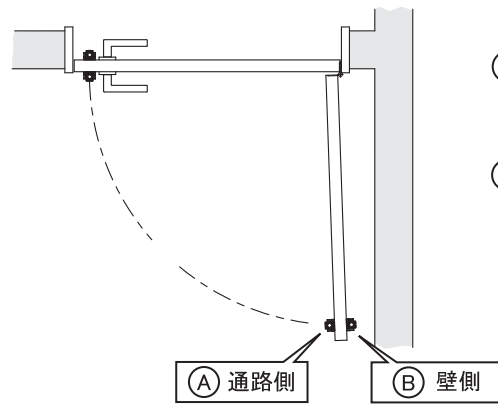


床側取付部品



○ 商品の特徴

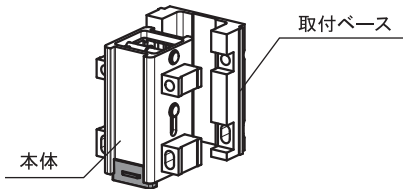
このドアキャッチャーは木質ドアの両面どちらにでも取付て使用出来ます。



- Ⓐ 通路側面に取付した場合
このドアキャッチャーの施工性及び操作性が良くなります。
- Ⓑ 壁側面に取付した場合
扉開放時、扉に隠れるために目立ちません。
- Ⓐ Ⓑ 面のメリットをご理解の上、取付られる面を決めて下さい。

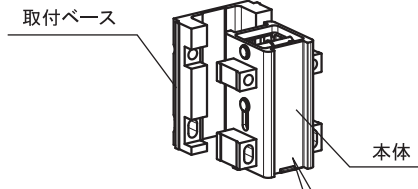
必ず確認して下さい。

Ⓐ 面に取付する時



※組み間違えない様ご確認をお願いします。
※下部赤色部を手前に取付ベースと組み合わせて下さい。

Ⓑ 面に取付する時 (組み換えが必要です)



※梱包時は下部赤色部が手前になっている為、
取付ベース側に組み替えて下さい。

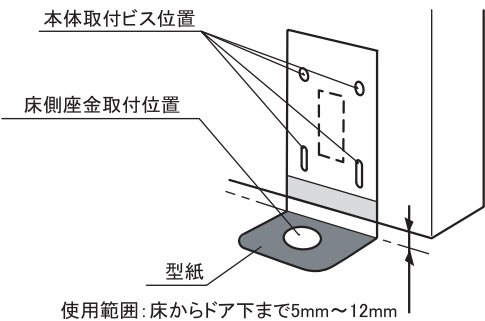
○ 取付手順

以下、取付説明はⒶ面に取付した場合の図解としています。

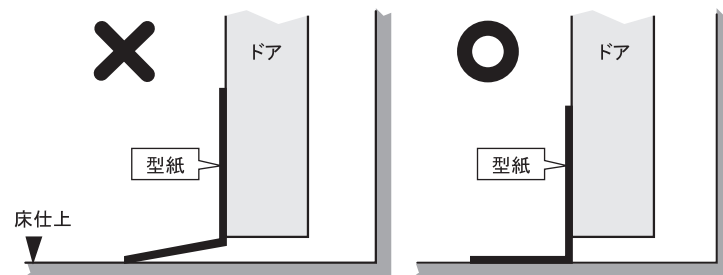
1 扉・床の取付位置を決める。

※必ず建具調整完了後に取付して下さい。

同梱の型紙を利用して、ドア・床のビス位置に印を付けて下さい。
型紙裏面の両面テープを取付位置に貼り付けて作業して下さい。

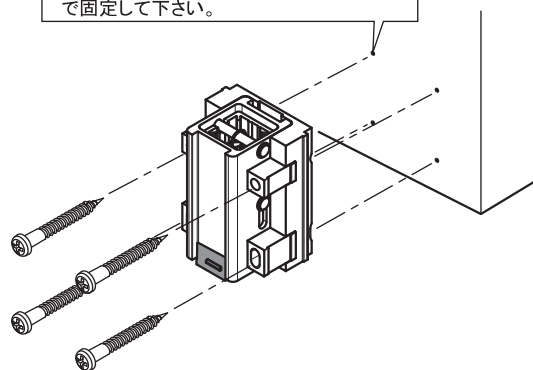


【注意】 型紙はドア・床と共にくっきりと面合わせして下さい

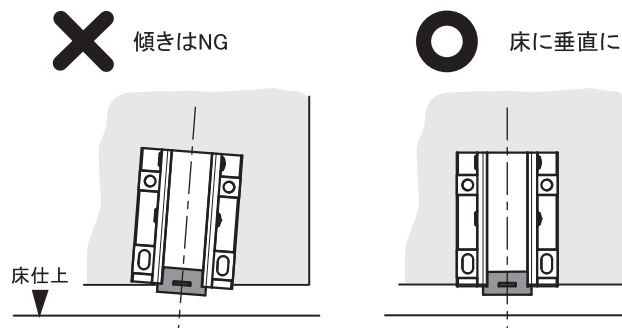


2 型紙にて印を付けた位置に本体を取付ます。

印位置に下穴を開け、
付属のネジ(丸頭⊕3.1×38木ネジ)
で固定して下さい。

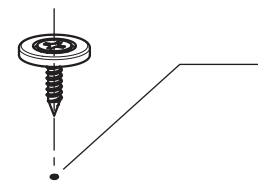


取付状態を確認して下さい。

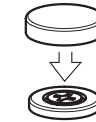


3 床側マグネット座金を取付ます。

床暖注意！ 床暖房の範囲に入って無い事を確認の上作業して下さい。



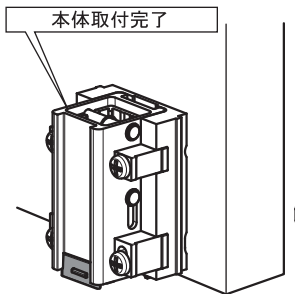
印位置に下穴を開け、付属のネジ(サラ⊕3.8×20木ネジ)で固定して下さい。
※ネジを強く締めすぎ床に埋まり込んだ状態になるとカバーキャップがはまらなくなります。
※マグネット座金・ワッシャー・ネジがセットしてあります。ワッシャーは取り外さないで下さい。



座金キャップを装置して完了です。

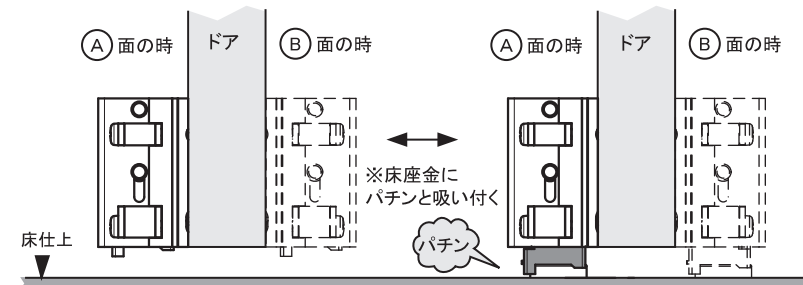
4 動作確認をして下さい。

ドアを開け閉めして本体内部マグネットピストンが上下に動いているか確認して下さい。



床側座金取付完了(座金キャップも付けて下さい)

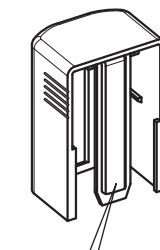
スピードが速すぎたり、強すぎるとキャッチエラーを起こす事があります。



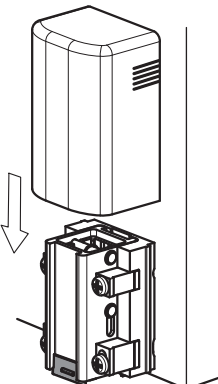
5 ロックカバーを装着します。

【Ⅰ】 ロックカバーは本体真上よりスライドさせ、本体に差し込んで下さい。 【Ⅱ】 一旦軽く引っ掛かりますが更に押し下げて下さい。

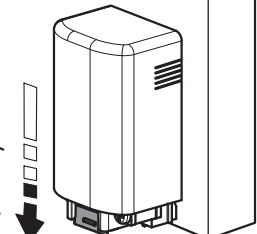
ロックカバー裏面



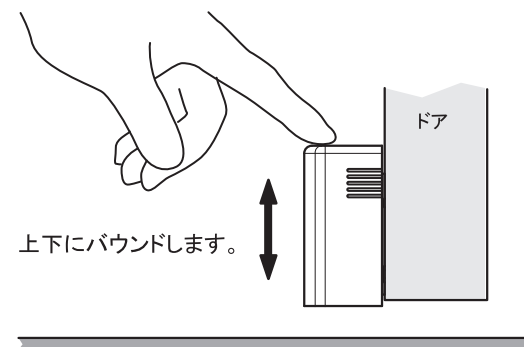
ステンレス製ロックプレート
※外さないで下さい。



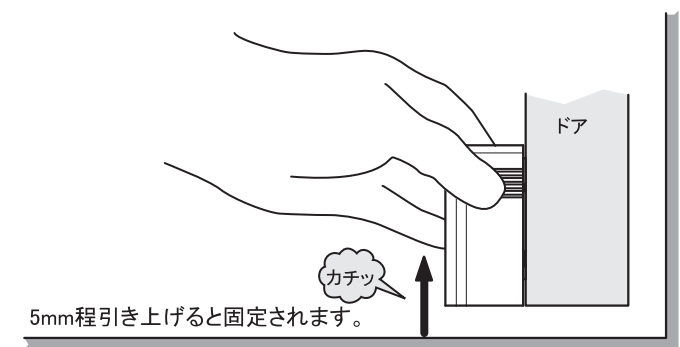
更に押し下げて下さい。



【Ⅲ】 パチンと音がして上下にバウンドする動きになります。 【Ⅳ】 手順【Ⅲ】の状態からカバー両脇を持ち、5mm程上に引き上げるとカチッと音がして静止します。これでロックカバー取付完了です。



上下にバウンドします。



5mm程引き上げると固定されます。